

京都大学名誉教授 下谷政弘先生を偲ぶ会

「皇寿(111歳)までゼミ同窓会を開催する」と、2022年5月におこなわれたゼミ同窓会で宣言されていた京都大学名誉教授下谷政弘先生が、同年11月14日に78歳の若さでご逝去なさいました。当時は、2055年に皇寿を迎えて、老当益壯の皆さんとの同窓会開催に思いを馳せ、そのとき83歳の私にどのような段取りができるだろうかと考えていました。傘寿や米寿という近いお祝いはまだ大丈夫だとむしろ軽い気持ちになっていましたが、このように突然の訃報に接し、いまだに信じられない気持ちです。残念ながら、コロナ感染防止のため延期していた喜寿のお祝い同窓会が最後となってしまいました。

さて「下谷政弘先生を偲ぶ会」が2023年1月21日(土)に京都大学法経済学部・法経第3番教室にて開催されましたのでご報告させていただきます。葬儀等はコロナ感染防止のため参列者を絞ったため、改めて下谷先生とご縁のあった学窓関係の皆さんにお

集まりいただき、先生の業績を讃え、先生との思い出を語り、先生を偲ぶ会をおこないました。日本資本主義史研究会関係、学会関係、学部ゼミナール同窓生、大学院ゼミナール同窓生、先生の奥様にもご同席いただき、約100名が集いました。会場には先生の写真や論文、最後の遺稿などが展示され、偉大な業績を改めて実感できる場となりました。

冒頭、長年の友人である塩見治人先生(名古屋市立大学名誉教授)からの挨拶に続き、日本資本主義史研究会関係や学会関係の皆さんから、初めて下谷先生に会ったときのエピソードや先生の研究への情熱や教育に対する姿勢、そして人間性に触れた様々な思い出話が語られ、先生への敬意と感謝の言葉が贈られました。その後、学部ゼミナール同窓生や大学院ゼミナール同窓生からは、毎日のように晩に先生と百万遍写楽や行きつけのお店に飲みに行ったエピソードやいまだから話せる秘密のエピソード、ゼミ合宿の

思い出などが披露されました。偲ぶ会は、参加者全員が亡き下谷政弘先生への尊敬と感謝を表し、共に過ごした時間や影響を受けたことを語り合う、感動的な場となりました。下谷先生の温かさや寛かさそしてそのお人柄の素晴らしさに改めて実感することができたと思います。時間の関係もあり、一部の参加者からのみのお話しになってしまったのは残念です。まだまださまざまなお話しをお聞きしたかったです。今後も下谷先生の研究成果が後世に引き継がれ、経済学の発展に寄与し続けることと思います。心からの感謝と先生のご冥福を改めてお祈りいたします。

